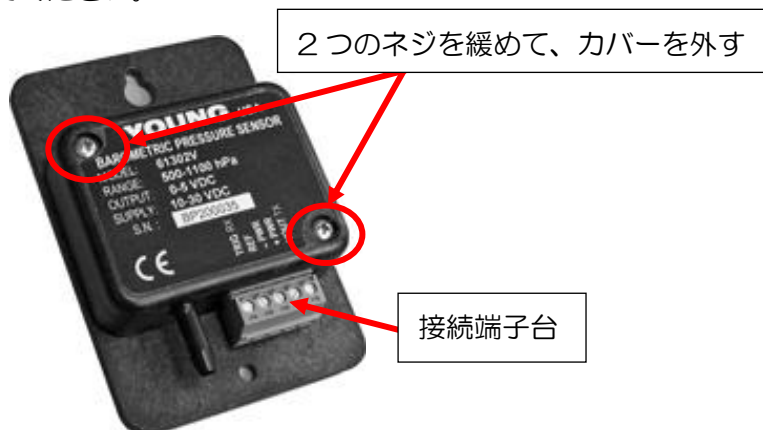


気圧計(CYG-61302V)のジャンパー設定確認について

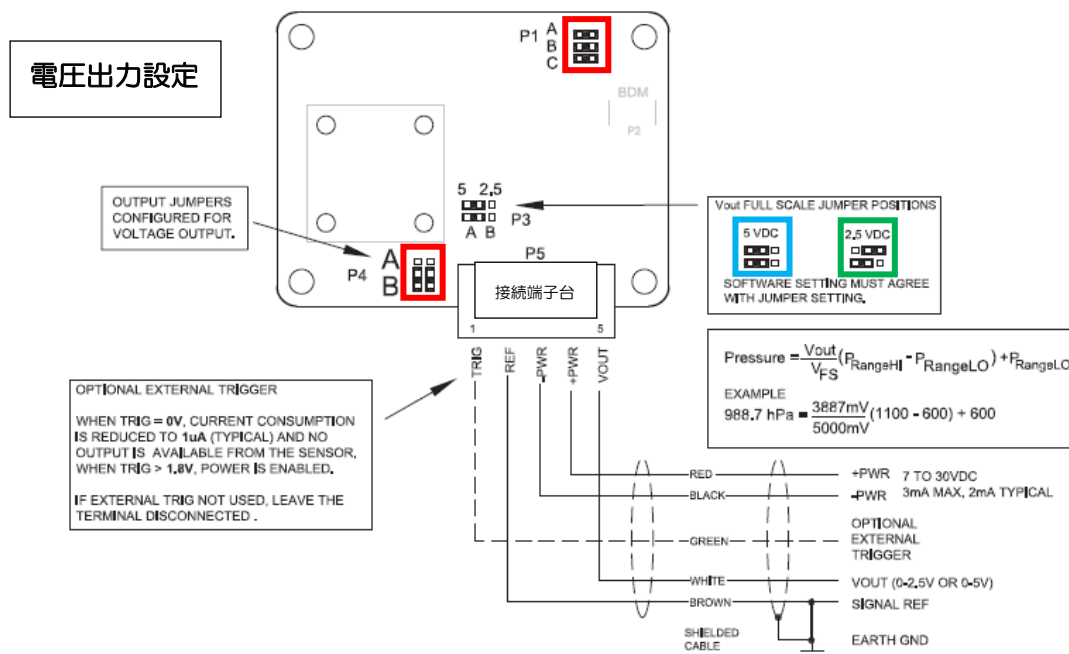
本気圧計(CYG-61302V)は内部ジャンパーを設定することで、各種出力の設定を行うことができます。内部ジャンパー設定は標準出荷時では電圧出力 0-5000mV に設定されています。内部ジャンパー設定をご確認の上、使用用途に応じて内部ジャンパーを設定してください。

内部ジャンパーの確認手順

1. 気圧計のカバーを外してください。



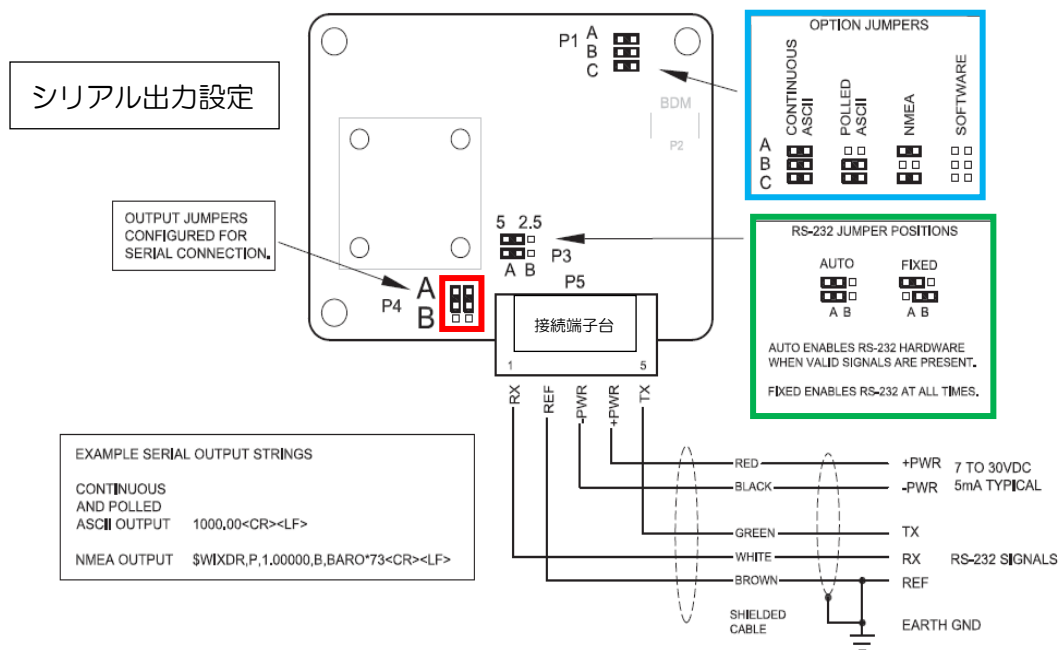
2. ジャンパーの位置を確認し、使用用途にあったジャンパー設定であることをご確認ください。



青枠：電圧出力レンジ 0-5000mV(標準出荷時)：P3 上下ジャンパーともに A(左側)

緑枠：電圧出力レンジ 0-2500mV : P3 上ジャンパー-B(右側)、下ジャンパー-A(左側)

赤枠：電圧出力共通設定(標準出荷時) : P1 ジャンパー-A(上段)、B(中段)、C(下段)
P4 左右ジャンパーともに B(下側)



青枠：出力形式、通信速度、出力レート、平均設定

出力形式	ジャンパーの位置	説明
ASCII テキスト連続出力	A(上段)、B(中段)、C(下段)	9600bps、10 サンプルの平均、出力レート 1.8Hz
ASCII テキストポーリング	B(中段)、C(下段)	9600bps、10 サンプルの平均、ポーリング時に出力
NMEA marine	A(上段)、C(下段)	4800bps、10 サンプルの平均、出力レート 1Hz
ソフトウェア	ジャンパーなし	出力はソフトウェア上の設定によって決定される

緑枠：RS-232 のハードウェアの機能を設定

	ジャンパーの位置	説明
AUTO	上下ジャンパー ともに A(左側)	RX と TX 端子に有効な RS-232 通信信号がある時のみ RS-232 用ハードウェアを有効にし、そうでないときは省電力のために RS-232 用ハードウェアを無効化
FIXED	上ジャンパーA(左側) 下ジャンパーB(右側)	RS-232 用ハードウェアは常に有効となり、無効な RS-232 通信信号が入っても使用可能

赤枠：シリアル出力共通設定：P4 左右ジャンパーともに A(上側)

3. ジャンパー設定を変更する場合は、上記設定方法に従いジャンパーピンを設定してください。
ジャンパーピンを外す際は、ラジオペンチ等を使用してください。

4. ジャンパー設定を確認した後に気圧計のカバーを付けてください。